

# 帰国研修員便り

## 【帰国研修員の現地活動状況】



ジーケーさんから母国（ケニア）での活動状況を報告して頂きました。



- 1) 報告者 : 小杉 允 (コースリーダー)
- 2) 現地レポート : Ms. KINYUAH Gladys Karen Wangu  
(ケニア帰国研修員)

2015年4月20日

(公財) 北九州国際技術協力協会 研修部

## JICA/KITA 技術研修に参加したジーケーさん（ケニア帰国研修員）から 現地活動状況の便りが届きました

今回、ご紹介する帰国研修員便りは、昨年（2014年）JICA/KITA技術研修コース【アフリカ地域 企業家育成・中小企業活性化A】に参加されたジーケーさんの帰国後の現地活動状況です。

### 1. 今回レポートされた帰国研修員の紹介

名前 (通称)	写真	氏名	国名	JICA受入れ研修 期間
ジーケー さん		Ms. KINYUAH Gladys Karen Wangu	ケニア	2014/05/2 ~ 2014/06/27

ジーケーさんは、2014年8月にKITA Web Siteで公開しました【アフリカ中小企業活性化】コースの研修事例紹介で研修員を代表してスピーチをして頂きました。

◆是非、クリックしてスピーチをご一読下さい。

#### 5. 研修員スピーチ

#### 研修員の感動スピーチ (於:閉講式)



閉講式でスピーチされたジーケーさん



【アフリカ起業家育成・中小零細企業活性化B】コースの閉講式記念写真 2014/6/26

### 《小杉コースリーダーからのメッセージ》



このコースは、アフリカ諸国が地場産業振興を推進し、雇用の創出、地域社会の活性化及び地方部の貧困削減を図ることを目的としています。研修員はアフリカの起業家や地域振興を目指す官僚ですが、今回紹介する Ms. KINYUAH Gladys Karen Wangu（私たちはジー・ケーさんと呼んでいました）は、ケニアの東アフリカ問題・商業観光省の女性官僚です。国内の中小企業の品質や輸出力の低さに危機感を持ち、地域振興に大きな情熱をもって取り組んでいます。

遊びや買い物も大好きで東京では秋葉原に飛んでいきました。各企業訪問では最初に質問の手を上げるのはG・Kさんで研修中も強いリーダーシップを発揮してグループの中心的役割を發揮していました。アイデアマンで起業のためのステークホルダーを検討するワークスタディでは予想もしなかった酪農加工業を立ち上げたり、魅力的な情報に接すると、企業への外国人研修受入の可能性を探る等新しい起業の芽をいつも探していました。その中でソーラーランタンの有効性を高く評価したのがG・Kさんです。もちろん実施するためには解決しなければならない課題が数多くありますが、まずはチャレンジするという姿勢が素晴らしく、情報を交換しながら協力していきたいと思います。今後の活躍を期待しています。

### 3. ジーケーさんからのレター



~~~~~◆**現地活動状況について**~~~~~

#### 1) アクションプラン進捗状況

パナソニックのホッタさん（堀田さん）とお会いして、ソーラーランタンについて話し合いました。ホッタさんにお会いする前は、わたしはスラム街やへき地での照明についての啓蒙活動をしてきていました。

**【注釈】** ソーラーランタン

- ・太陽光により充電して点灯するランタン（手揚げ提灯）。
- ・パナソニック社は無電化地域解消のため、この製品の普及に努力している。

話し合いができて、本当にうれしかったのですが、計画の実施費用には限度がありました。50 USドルを捻出できる人は殆どいません。つまり 10 ドルほどの価格で売っている他のブランド品があるからです。加えて、そのブランドは、もっと多機能であり、たとえば、携帯を 10 個同時に充電でき、また電球が 3 個ついています。つまり、部屋が 3 つあるような家での照明に使えるということです。照明時間は 12 時間です。他にもいろいろなブランドがありますが、携帯サービスプロバイダーと契約ができるブランドもあります。そのプロバイダーの装置がクレジットで購入でき、少しずつ還付できるのです。

このことから考えると、パナソニックのソーラーランタンの普及には、解決すべき課題が多くあります。ケニアの人々は日本製品を高く信頼しています。製品に「Maide in Japan」と記載されていることが必須(Value)となっています。



クリックするとパナソニックのソーラーランタンの説明書が表示されます。

◆テスト品として持ち帰ったソーラーランタンをどの様に活用したか？

まず、それをへき地に住む女性にあげました。その女性は、私に、照明のためのパラフィンランプからすると照明費用を毎月 15 ドルも節約することができたと言ってきました。クリーンな照明であるので、目もよくなったとも言います。

パナソニックのソーラー電灯は非常に良い製品ですが、問題はターゲットとする人々にとっては、あまりにも高価すると言っていました。

2) アクションプラン実施記録

私の専門はマイクロ及び小規模企業 (MSE) のためのマーケットへのアクセスでした。東アフリカコミュニティ、つまり、フランディ、ケニア、ルワンダ、ウガンダそしてタンザニア等の国々が、MSE セクターから約 1000 社を集めてルワンダのキガリで展示会が開催されたこともお伝えしておきます。結果は、グローバルマーケットでも競合できる先端技術や進化した高品質の製品の展示でした。MSE ではスクラップ金属から乗り物や、薪 1 本と水を使って 3 時間燃焼させられるストーブも、製造できるようになっていました。(写真を参照)



薪一本と水で3時間使用が可能な「アフリカの環境に優しいストーブ」

展示会の執行委員会は私が執行責任を執ったのですが、東アフリカ諸国の首都全てへの、地域店舗あるいはセンターの導入サポートが目的でした。それらの店舗やセンターでの MSE の製品販売や、特に MSE の製品を販売するウェブサイトの開発を意図したものでした。

MSE の啓蒙活動：開催後、帰ってきた時、私の地元ではこのようなことについての予算はありませんでしたが、ディレクターが賛同してくれました。そこで私は、同様の企画を温めてきていますが、それは 2015 年の 3 月に開催の予定です。次のことを網羅して計画を策定しています。つまり、高品質の製品の製造、国境を越えたビジネスの要請や手続き、そして税関規則、オンラインマーケットです。

私は JICA から得た知識に対して本当に感謝しています。外に出して販売する商品を増やすために、今、「一村一品 (OVOP)」を導入し、ケニアの人々の啓蒙にあたっています。

「ケニア MSE」によって成し遂げたことをご覧いただくために、写真を添付します。

敬具

グラディ キンユア Gladys Kinyuah (GK)



### 3) 写真集



スクラップから造った乗り物。



2014年12月1日～7日にわたって開催された第15回EAC-MSE展示会での写真。ケニアマサイ族のダンス。



ケニア産業企画開発上級事務次官が展示物の手芸品を誉めている場面。この製品を日本のマーケットに出すお手伝いをして頂けないでしょうか。

## 5. 研修員スピーチ

# 研修員の感動スピーチ (於：閉講式)



閉講式でスピーチされたジー・ケーさん

# Ms KINYUAH Gladys Karen Wangu (通称:ジー・ケーさん)の謝辞 ～研修員代表～

◆和訳全文をご紹介します。

閉講式にご出席の皆様、こんにちは。

アフリカ地域「起業家育成・中小零細企業活性化(A)」コースは、非常にわかりやすく、期待を裏切らないものでした。この研修で得た知識は、私達研修員の母国の中小零細企業の将来の活動や経済全体の発展を活性化させるのに役立つことでしょう。

研修員の中にはOVOP(一村一品)の概念をよく知らない者もいました。しかし、今は、皆、その分野の専門家となりました。この概念は、私達の母国の数少ない輸出製品を販売促進する一つの方法であり、雇用と富の創造を容易にしてくれるものです。



私達は、それをアフリカが直面している多くの挑戦への解決策であると理解しています。カイゼンや5Sを適用することによって、いかに生産性を増加させるかということに関する知識は、私達にとって非常にありがたく、また、きちんと整理するだけで生産コストを減らし、生産性を上げることができると知り、わくわくしました。

アフリカでは、中小零細企業(以下、MSME)の大半は、市場情報が限られているため、地域市場でも世界市場でも自分達の製品の販売ができていませんが、今、私達は、市場情報にオンラインでアクセスすることができ、最小のコストで大金を稼ぐことができることを知っています。

有効で、確実に、実現可能な風力発電や水力発電、そして、農村地帯の零細企業家のためのソーラーランタンについての新しい知識は、それが現実となるまで諦めたくない私の夢となりました。実施できれば、それは多くのMSMEにとってまさに「ライフチェンジャー(生活を一変させるもの)」となるでしょう

アフリカのMSMEは、貧困の程度が高いせいで、資本が限られていることを私達は認識しており、したがって、アフリカのMSMEの業績を高めるべく、安価で信頼できるエネルギー源の供給のための財政援助について、私達の提案を前向きに検討してくださるよう、JICAにお願いしています。

アフリカは、低品質な製品を提供した結果、地域市場でも世界市場でも競争力が持てませんでした。彼らは、品質管理には継続的な人材育成が必要であることに気づかなかったのです。私達は、この研修に参加したおかげで、ビジネスという視点で物事を見る目を養うことができ、そして、技術開発はコストではなく、投資であるということがわかりました。

私は、この重要な研修コースに参加するために、私達に資金援助してくれ、世話をしてくれた日本政府に感謝申し上げます。また、私達が任務を離れ、遠く離れた国(日本)に来ることを許してくれた母国政府にも感謝申し上げます。私達は、この少数特権集団の一員であったことを誇りに思い、また、光栄に感じています。



研修員を代表して、日本政府、講師の皆様、私達が訪問した機関や企業の代表者の皆様に感謝の意をお伝え下さいますよう、JICA-KIC及びKITAの皆様にお願ひします。私達は、与えられた知識に感謝します。知識は力です。そして、私達に知識という力を与えてくださってありがとうございました。

私達は、働くことに対して誠心誠意尽くす日本文化について沢山のことを学びました。私達は、日本では全ての人々が「時間を守る」ことを常に意識していることに感銘を受けました。それは、パフォーマンスの基本要素として私達に取り入れられるものであります。スモッグが始終立ち込めていて市民が空の青さを忘れてしまった世界の他の工業都市に比べて、工業国である日本のきれいな環境と新鮮な空気を称賛したことを忘れることはできません。

最後に、穏やかで、微笑を絶やさず、献身的で、寛大なKICの受付の皆様とレストランのスタッフの皆様にも感謝します。「スバラシイ」。

JICAとKITAの皆様、私達研修員がこの研修で得た知識を自国の市民のために共有する努力を惜しまないということを約束します。私達は、感謝の印として、MSMEに関連していようとなかろうと、何らかの結果を追跡調査する必要がある時は、皆様のために協力することを約束します。

私は、研修員の皆さんがいつまでもここに滞在し、主催者からの温かいもてなしを受けたいと思っていることを知っていますが、家族や職場が待っています。

ですから、私が皆さんを代表して、私達を研修に招待して下さった主催者の皆さんに「ありがとう」と「さようなら」を言います。しかし、それはただ身体的な「さようなら」であり、JICAまたはKITAの職員としてではなく、真の友人として私達の心の中にいつまでも留めます。

- 皆さんに会えなくなると思うと寂しいです。
- 「日本とアフリカの連携、永遠なれ」と言いましょう。
- 私達はアフリカに帰国しますので、私の研修仲間に旅の安全を祈ります。
- アフリカとJICAの火を燃え続けさせましょう。
- ありがとう、そして、神のご加護を。

## 6. 研修思い出アルバム



2014/06/2

クリックして下さい。  
元の画面に戻ります。



2014/06/03



2014/06/19

# ソーラーランタン新製品

Link資料②

## Panasonic SOLAR LANTERN



|               | SPEC                                    |             |             |
|---------------|-----------------------------------------|-------------|-------------|
| LED Mode      | High                                    | Medium      | Low         |
| luminance     | 100 lx                                  | 40 lx       | 6 lx        |
| Working hours | Approx 6 h                              | Approx 15 h | Approx 90 h |
| Battery       | Ni-MH 4 pcs in series<br>4.8 v 1.9 Ah   |             |             |
| LED           | 360 Irradiation<br>LED 0.2 W×5          |             |             |
| Protection    | IP34                                    |             |             |
| Solar Panel   | 3.5 W (7V 0.5 A)                        |             |             |
| Charging time | Approx 6 h                              |             |             |
| Cord Length   | 5 m                                     |             |             |
| USB output    | Able to charge mobile phone (5V 500 mA) |             |             |
| Size/Weight   | 137(L) × 159(W) × 61(H) Approx 390 g    |             |             |

\* Lighting Africa Minimum Standards and Performance Targets

- Illuminates a 0.1m<sup>2</sup> surface at  $\geq 25$  lux under conditions defined by QTM
- Lighting hours per solar day (PV only):  $\geq 4$  hours
- Physical Ingress Protection  $\Rightarrow$  Others IP2x
- Water Protection  $\Rightarrow$  Portable Separate Occasional rain: IPx1

## パナソニック、無電化地域向けのソーラーランタンを発売

パナソニックは、無電化地域で使用する「ソーラーランタン BG-BL03」を12月から海外で発売する。当初は、ケニア、ミャンマー、カンボジア、インドネシア、バングラデシュ、マレーシアの6カ国で、順次拡大する。

このソーラーランタンは、電気設備が普及していない無電化地域で夜間照明として使用することを想定した製品で、灯油ランプなどの置換えを目指している。また、通信機器として普及している携帯電話の充電機能も持っており、“灯り”とともに“電源”としても機能する。自宅だけではなく、病院、学校、店舗、屋外などさまざまな場所で使える。

ソーラーランタンは、IP34相当の防塵/防滴構造で、雨天でも使用できる。5個のLEDが360度の広い範囲を照らし、最大100lxの明るさがある。また、取っ手をつかって吊るしたり、立てて使うこともできる。



取っ手を活用し、吊るす、置く、持ち運ぶなど6通りの使い方ができる

# ソーラーランタン10万台プロジェクト

2013年11月  
パナソニック(株)  
CSR・社会文化G

## 【概要】

- ・ソーラーランタン寄贈により開発途上国の無電化地域におけるさまざまな社会課題解決に寄与することを目指すパナソニックの企業市民活動(社会貢献活動)の取組み。国連ミレニアム開発目標(MDGs)達成への貢献を指向。寄贈相手先は、NPO/NGO、人道支援機関、社会的企業、国際機関など。実施期間は2012年度～2018年度で、この期間に10万台の寄贈を目指す。

## 【2012年度実績】

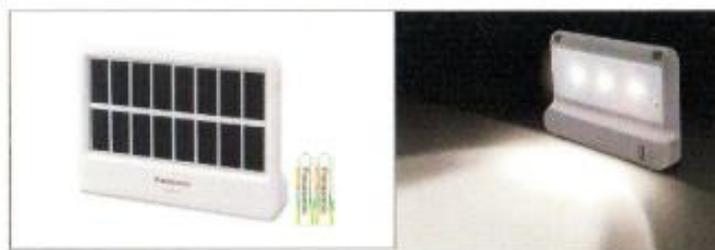
- ・コンパクトソーラーライトを合計10,000台寄贈  
(対象国:ミャンマー、インド、ケニア)



ミャンマーでの寄贈式典



インドの家庭での活用場面



コンパクトソーラーライト

## 【2013年度計画】

- ・ソーラーランタン新製品を合計10,000台寄贈予定(対象国・地域は、拡大メコン地域など東南アジア、インド、サブサハラ・アフリカ地域)



ソーラーランタン新製品

クリックして下さい。  
元の画面に戻ります。